

謹んで新年の

お祝いを

申し上げます

昨年中は種苗、飼料を通じて皆様の雪印種苗として格別の御引立と御愛顧を賜りまして有難う御座いました。

今年の農業界は開放経済に対処するため、更に一步前進の年でありましょうが、特に畜産部門では生産コスト引下げが強く要求されて居ります。このためには飼料基盤の整備強化が、何にも倍して優先すべきであると存じます。

弊社では今年も研究、生産、工場と会社の総力を結集して皆様の飼料基盤強化のお役に立つ、種苗、飼料をお届けするよう準備万端整えましたので、なんなりと御用命下さいますようお願い申して居ります。

昭和四十年元旦

雪印種苗株式会社

取締役社長

松原 太郎

飼料栽培にあたっての考え方

一 必要飼料確保のための安定多収作を

飼料の自給度をどの程度に押えるかは地帯によって異なります。例えば高地の都市周辺でも乳牛の健康を保つに必要な程度、原料乳地帯では出るだけ自給度を高めるようにという事になります。何れにしても必要量の確保が大切です。

そのためには適地適作で安定収かくを期さねばなりません。冷害だ、早魃だ、台風だと、アワテルようでは安定した酪農経営は出来ません。

暖地では、耐暑性の作物や、台風被害の少ない作物を

寒地、高冷地では、冷害や、台風が来ても安定収かくの出来る牧草類や根菜類を作付するよう心がけたいものです。

然も安定作で更に多収を得るためには優良品種を活用すべきです。

二 家畜の健康と畜産物の生産に役立つ作物の栽培を

飼料栽培はその収かくしたものが、家畜とよく結びついて、牛乳、卵、肉とならなければ最終の目的が達せられません。

家畜の多頭化も、飼料栽培で手間を省くことも儲かる畜産のために行なうことで、多頭化し、飼料栽培の手間を省いた結果が、家畜の不健康、生産の低下になつては全くのナンセンスです。

飼料作りはもとより、手間を省くことを考えなければなりません。たとえ労力の多くかかる作物でも、それが家畜の健康や生産を上げるために役立つ作物であればなんとしても作らねばなりません。

暖地では、多肥多労作物と言われても耐暑性の青刈類やツナギに利用する家畜ビート等の根菜類

寒地、高冷地では、冬期に備えて根菜類、良質のサイレージ材料等は手間をかけてもそれ以上の働きをしてくれる値ウチのある作物です。勿論無駄な手間を省くことには努めねばなりません。是非作付したいものです。

以上の観点から今春特に作付したい作物を挙げますと

暖地

◎夏の暑さに強い青刈類
ソルゴー、スーダングラス、テ

オシント、カウビー、大葉つるまめ等

◎夏でもよく伸びる一年牧草
ローズグラス

◎夏でもよく生育する永年牧草
マンモスイタリアン

◎夏でもよく生育する永年牧草
オーチャードグラス

◎夏でもよく生育する永年牧草
ス、ダリスグラス、パーミュニダグラス、ケンタ

◎夏でもよく生育する永年牧草
ッキー三一フェスタ、トールオードグラス、ルー

◎夏でもよく生育する永年牧草
サン、パーズフットトレフォイル、ニュージラン

◎夏でもよく生育する永年牧草
ドホワイト等

◎夏のツナギ飼料
家畜ビート、家畜カブ



◎飼料用根菜類特に家畜ビート、
ルタバガ等

◎牧草類、特に優良草種の赤クロバ、ルーサン、

ラデノ、ニュージランドホワイト、アルサイクク

◎牧草類、特に優良草種の赤クロバ、ルーサン、
ロバー等の豆科、オーチャード、チモシー、メド

◎牧草類、特に優良草種の赤クロバ、ルーサン、
ウフェスタ、ライグラス等のいね科

◎サイレージ材料として実つきのよいデントコーン

一代雑種。

暖地

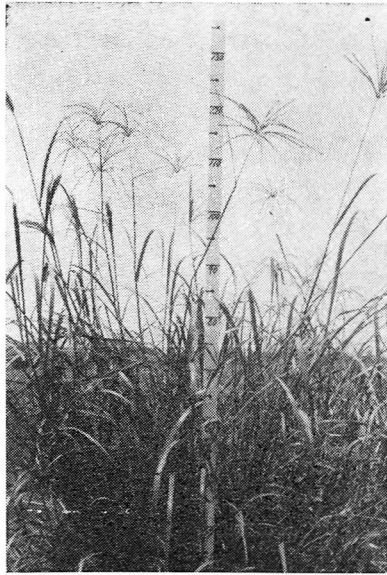
牧草夏枯れの恒久対策に耐暑性新牧草を

◎待望久しく愈々本格発売の

新牧草 ローズグラス

何故暖地の方がローズグラスを待ち望んでいたか、それは ○耐暑性が強く ○多収で、然も夏の一年性多収作物の中では乾物率が高く(実質収量が多い) ○夏の暑い時期にはドンドン匍匐茎を出し、分枝も多く繁茂しますが、冬の寒さに枯れて雑草化しない等の利点があるからです。

◇作り方 発芽には高温が必要ですから五月上旬頃播種、



条はんでは一・〇〜一・五キ。撒播で一・五〜二・〇キ、肥料は充分に、病気や虫に強く防除は不要、発芽後二〇〜三〇日頃迄に一回除草。
 ◇収かく 七月中旬から一月毎に二〜三、〇〇〇キ、特に八月の酷暑期に収量が最高。

◎九州地方にも自生していたダリスグラス

シマズメノヒエは実はダリスグラスの一種で、それ程暖地に適した牧草です。○春の萌芽が早く ○夏も生育旺盛 ○秋霜が二〜三回来ても青々と生育を続け、暑さに強い上に春秋の生育もよいのがダリスグラスの良さです。



夏に生育旺盛なダリスグラス

冬のイタリアンのように作り易く暑さに強い多収一年草ローズグラス

◎放繫牧型のパミューダグラス

草丈は三〇センチ前後で、地上茎と地下匍匐茎で強烈にひろがり、家畜の踏みつけにも強い、土壌保全用にも利用される耐暑性牧草。

◎パヒヤグラス

南米原産の暖地牧草でダリスとパミューダの間特性的な牧草。

サツソウと新登場 飼料としてもよい

土壌保全牧草のサンドラプグラス

ワイピングはアフリカ原産、サンドラプはアメリカ原産、草丈高く、土壌保全力も強く、更に優れている点はワイピングは家畜の嗜好が悪かったがこれはアイスクリーム・グラスと呼ばれている位真夏に家畜の好食する草です。

◎荳科牧草では

ルーサンとパーズフット

牧草の王様、ルーサンは暖地の荳科永年牧草の王者でもあります。肥えた土地にはルーサンを、特に暖地用品種としてデュビー、ウイリアムスブルグ、リゾーマを準備致しました。



肥沃地であれば暖地の真夏でもこんなに繁茂するルーサン(デュビー)

黄金の牧草といわれるパーズフットは暖地の瘠地にもよく出来る荳科永年草です。

◎古くから暖地で

常緑の牧草といわれている トールオートグラス

草質のよい北方型の牧草で、暖地で夏でも生育を続け、乾草づくりの最も容易な牧草です。再生が早いので兎角刈遅れませんが、出穂前に刈取りますと家畜も好食します。

種子で手軽に出来る

西洋芝生 (張芝の一割程度の経費で見事なローンを)

春早く、よく整地された庭に肥料をやり、種子をまき、その上を竹ぼうき等で掃くようにして覆土、板等を利用して鎮圧して置きますと約二ヶ月で優美な緑のジュウタンが出来上ります。

○どこでも失敗のないのが ケンタッキーパー

ルーグラス

ペントグラス

○高級な芝生には

○優美でセンサイな芝生には レッドフェスタ

播種量は一坪(三〇坪)に一・〇キ前後で潤密な厚味のある芝生となります。

暖地

マンモス
イタリアン の出現で

春まき二年利用が可能

一 作り易く、多収なイタリアンライグラスの春まき

秋まき、特に水田

裏作の王者はなんと

言ってもイタリアン

ライグラスですが、

従来の品種では春ま

きは殆ど行なわれま

せんでしたが、新タ

イブのマンモスイタ

リアンを利用します

とこれが可能です。

弊社千葉農場(千

葉市)での調査では

四月五日播種で、



春まき二年利用の出来る新タイプの多収な
マンモスイタリアン

一年目五月下旬二・二ト、六月中旬一・八ト、七月中旬一・五ト、一〇月下旬二・六ト、計八・二ト、二年目四月下旬二・三ト、五月下旬一・九ト、六月下旬一・九ト、七月下旬〇・七ト、九月下旬〇・七ト、一二月上旬一・五ト、計九・〇ト

と夏の収かくは幾らか落ちますが、春と秋には多収出来、二年間も充分利用出来ます。

ニ ダリスグラスにマンモスイタリアンの混播

夏枯れに強いダリスグラスは盛夏の収かくは多いが、春秋は劣ります。これを補うため

にイタリアンを混播して緑の生産期間を延長することが行なわれていますが、従来のイタ

リアンでは毎年秋に追播しなければならぬ煩しさがありませんが、マンモスイタリアン

は二年利用が可能ですからこの点も便利です。

ダリスグラスの草地は今春早速マンモスイタリアンを一ヶ位追まきしてみましよう。キ

ット御満足が得られます。

ヤセ地に導入してよい白クロバーは

ニュージーランド

ホワイト

乳牛の夏ヤセに備え

家畜ビートの栽培を

一 家畜ビートはどんな暑い時でも牛の食欲を旺盛にします。

牧草や、青刈類をあたえても見向きもしない暑熱の候でも、家畜ビートだけはモリモ

リ食べます。そして多汁質ですから、乾草類の食いこみもよくなり乳牛は夏ヤセせずに

働いてくれます。

二 暖地の夏とり家畜ビートは、その都度抜きとって葉をつけたまま給与しますから、相

当蛋白の高い飼料となり、牛は体力を弱らせず、牛乳生産を暑さにまげず続けてくれま

す。

三 暖地での家畜ビートの作り方

。播種はなるべく早く、関東地方で三

月早々に、西南暖地では更に早く。

。耕起前に完熟堆肥と石灰を施用

。播種量は一〇呎当一〇キ内外

。畦幅六〇呎、株間二五呎程度

。間引きは本葉が二〜三葉の早い時期

に

。夜盗虫や、地蚤防除に発芽直後にD

DT粉剤三キ散布

。中耕除草は二〜三回

。褐斑病防除のために播種後二ヵ月位から

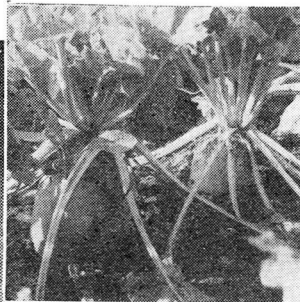
銅製剤や、ボルドウ液を二〜三回散布

耐病性MGMを用いますとある程度省略

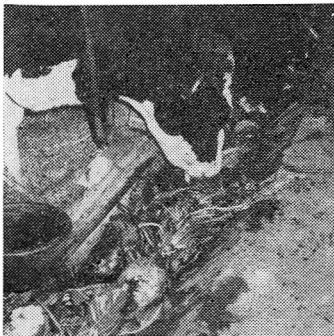
出来ます。

。品種は早取り用にハーフエロー・パール

ス、晩とり用にはM・G・Mを



暖地の早春まきで夏の初めには
こんなに大きくなる家畜ビート



暑さで食欲のない乳牛も家畜
ビートにはカブリつきます

頻繁な刈取や
放緊牧地用の
ライグラスはH・ワンライです。

暖地

暑さと 旱魃に強い 青刈作物

一 高乳価の夏に備えて耐暑性青刈作物を

高乳価の夏場に牧草の夏枯れは致命的な打撃で、これを乗り切るためには耐暑性の青刈作物の作付けが必要です。

(1) **ソルゴー** 青刈用として二〜三度刈にはスイートソルゴー、サイレージ用には雪印ハイブリッドを

(2) **デオシント** 葉が多く、再生力も旺盛で暖地では三〜四度刈りの出来る欠かせない青刈です。

(3) **スターングラス** 風に強く、暑さ旱魃にも強く、再生力旺盛で三〜四度刈が出来ます。葉枯病に強い優良品種は

パイパー



熟期の揃う早生多収なサイレージ用に適した雪印ハイブリッドソルゴー



再生力旺盛で多葉、軟かく甘味が多く青刈用に適したスイートソルゴー

(4) **カウビー** 葉が大きくよく繁茂しますから畑地の雑草退治にも役立ち、夏に高蛋白の飼料を生産してくれます。スターングラス、ソルゴー、デントコーンとの混播にも利用、害虫の心配もありません。

(5) **青刈大豆** 春まき夏どりの青刈大豆は北海道で採種されている夏型大豆が生育も早く多収が期待出来ます。特に飼料用として改良された

改良新黒千石は草丈高く、大葉で、分枝も多く、今までの大豆ではみられない優れた点を備えています。

(6) **ドンドン蔓のびのする多収な大葉つるまめ**

野生大豆を改良した、ソル性の大豆で、暑さに強く、



葉の多い、2〜3度刈出来る多収なデオシント

二 **サイレージ用デントコーン**
青刈りに栽培したデントコーンでサイレージをつくり、ますと水分が多く酪酸酸酵を起し易く、品質が落ち、更に栄養価も少ないので実のついたものでつくりましょう。

◎子実生産の多いデントコーン品種

・長交一六一号 (中早生)

・長交二〇二号 (中生)

・長交二二七号 (稍晩生)

・T・C五号 (早生)

◎暖地で実のつくまで置くと

台風等で倒伏

する心配のある時は密植をさげ、品種も着穂高穂の着く位置の低いT・C五号を利用するとよいでしょう。

三 **青刈デントコーンの時無し栽培**

春から八月一杯位の間絶えず播種して青刈利用出来るデントコーンは播種して二カ月位の短期で多収出来ませんが、これには、黄色種や白色種の利用が有利でなるべく密播します。時には省力のために、バラまき栽培も行なわれます。

バラまき栽培での増収のコツは、多肥と多量(二二〜四

キ)播種です。

病気や虫にも強く多収な高蛋白質飼料です。

単播もよし、デントコーン、スターダン、ソルゴーに混播しますとよくツルが伸びてカラミつき、一層多収が得られます。

三 **青刈デントコーンの時無し栽培**

春から八月一杯位の間絶えず播種して青刈利用出来るデントコーンは播種して二カ月位の短期で多収出来ませんが、これには、黄色種や白色種の利用が有利でなるべく密播します。時には省力のために、バラまき栽培も行なわれます。

バラまき栽培での増収のコツは、多肥と多量(二二〜四

キ)播種です。

病気や虫にも強く多収な高蛋白質飼料です。

単播もよし、デントコーン、スターダン、ソルゴーに混播しますとよくツルが伸びてカラミつき、一層多収が得られます。

三 **青刈デントコーンの時無し栽培**

春から八月一杯位の間絶えず播種して青刈利用出来るデントコーンは播種して二カ月位の短期で多収出来ませんが、これには、黄色種や白色種の利用が有利でなるべく密播します。時には省力のために、バラまき栽培も行なわれます。

バラまき栽培での増収のコツは、多肥と多量(二二〜四

キ)播種です。

マンモンペレニアルと

赤クロパー

ケンランド
ベネスコット

何れも暖地でよく出来る優良品種です。

三〜五割の増収はうけ合いです。



害虫も少なく病気もなく暑さに強いカウビー